

リオ 2016 パラリンピック水泳競技報告書

監督/ヘッドコーチ 峰村史世

今回競泳チームは、男子 12 名（身体 5 名、知的 7 名）／女子 7 名の計 19 名で、リオデジャネイロパラリンピックに臨み、銀 2、銅 5 の計 7 個のメダルを獲得した。目標としていた前回ロンドン大会（金 2、銀 2、銅 4）を超えることはできず何よりも金メダル 0 ということ、また過去 2 大会では参加選手全員が入賞を果たしてきたのに対して、今回の入賞者数が 19 名中 14 名であったことは厳しい結果となった。そのような中でも、メダル獲得となったレースはそれぞれ意味・価値のあるもので、今後にも繋がる良い内容だった。

世界新記録が 50 以上飛び出し（ロンドンでは 70 以上）、今回もまた 4 年に 1 度、パラ水泳の競技レベルは格段に上がっている中での大会について、以下の通り報告する。

1、選考について

リオパラリンピック出場への選考については、以下の基準を設け、それに基づき下記の順番で選考を行なった。

【IPC Swimming から配分される出場枠数を受け、2015 年 10 月 15 日から 2016 年 3 月 6 日の間に IPC Swimming が定める MQS を突破した選手の中から、上位入賞の可能性のある選手、および 2020 年東京パラリンピックに繋がる記録を持っている選手を選考する】

- ① 2015 年 IPC Swimming 世界選手権優勝者（その時点で内定とする）
- ② 2016 年 3 月 6 日の選考会にて、日本身体障がい水泳連盟および日本知的障害者水泳連盟が定める派遣標準記録を突破した選手
- ③ 2016 年 3 月 6 日選考会における記録と、2016 年 1 月 31 日現在の IPC Swimming ランキング 3 位からの比率差において、より 3 位（メダル）に近い選手

初めて一発選考を実施したが、本番での一発勝負を考えると良い方法であったと思う。また、あくまで世界ランキングの順位から選考していた前回までとは大きく異なり、メダルラインである 3 位からの比率でどれだけメダルに近いかを計り選考する方法になり、こちらもより明確であり一定の理解を得られたと思う。

2、事前強化

① 強化合宿

代表選手決定後、計 5 回の代表合宿（そのうち 2 回は身体と知的で分かれての合宿）、2 回の個別対応の Additional 合宿を JISS/NTC で、それから入村直前合宿（身体のみ）をカナダのトロントにて行なった。

代表合宿では手続き・準備の諸確認をはじめ、チームの体制を整えることを中心に行ない、個別対応の Additional 合宿では所属コーチ等のパーソナルスタッフの参加も認め、できる限り充実した練習ができるように対応した。このパーソナルスタッフに関しては、コーチ/トレーナー/マネージャー/ドクターから計 19 名が参加、そのうち 12 名は現地リオデジャネイロまで足を運び各

選手のサポートを行なった。

チームスローガンを『より高く、より強く、よりたくましく』と掲げ、まずは個々のレベルアップを図り、その好結果がチームの士気を高めていくということで、強化を進めていった。リオデジャネイロに入る直前の合宿としては、気候・穏やかな土地柄・リオとの時差調整等から、カナダのトロントをその地に選び行なったが、Swimming Canada がトレーニング拠点としている施設であるだけのものが整っており、プール・トレーニングジム・交代浴など、環境は申し分なかった。希望者はパーソナルスタッフも帯同し、リオへ向かう前の最終調整をそれぞれのペースで行なった。同時期にカナダチームも合宿を行っており、本番を見立てたトライアルに参加させてもらい、交流・情報交換含め良い時間・内容で過ごすことができた。スタッフのほとんどが本業は別であり国内にいる間はなかなか準備に時間を割けないことが多いので、現地に入る前にチームで過ごす時間が持てたことは、チーム作りとしてはとても重要な時間となっている。

② 強化遠征

代表内定後、パラリンピック本番までには2回の遠征を行なった。

一つは、4月17日から26日まで、リオパラリンピック本番会場で行なわれたテストイベントに、選手8名（男子5名、女子3名…選考会の結果から選抜）・スタッフ7名で参加した。この遠征では、本会場で行なわれることが最大のメリットであり、会場図全体のイメージや各動線、それから渡航関係、時差調整、現地リオ市街の現状など、多くの体験ができ情報を得ることができたのは大きかった。サブプールはまだ外にプールが一つあるだけの状態でかなりな不安要素も残ったが、メインプールについては選手から『泳ぎやすい』との声も聞こえ、経験としては申し分ない遠征となった。

もう一つは、6月4日から14日まで、リオパラリンピックへ向けた強化の一環としてドイツ遠征を行なった（身体のみ）。この大会はすでに何度も参加しているので、大会運営や現地での生活環境などには慣れており、各国のトップ選手も参加してのレースは、強化が順調にきている選手、少し修正が必要な選手、さらなる強化が必要な選手等々、パラリンピック前哨戦として3か月前の現状を知るには格好の機会となった。また、スタッフの動きやデッキアクセスなども、調整し整え直さなければならぬ事柄なども確認でき、こちらも充実した遠征となった。

3、大会の成績と評価

チームとしては、58種目にエントリーし、23種目で決勝に進出した。

5種目にエントリーし4種目でメダル獲得となった木村（S11/SB11/SM11）は、念願の金メダルには届かなかったものの、出せる力はすべて出し切ったと言える。昨年の世界選手権優勝ということで早々に出場が内定し充実・納得した練習ができた半面、想像を超える期待、そしてそこからのプレッシャー等でなかなか体調が万全である状態が少なく、本番までその苦悩は続いた。この彼の戦いは、常に想像を絶するレベルの駆け引きと緊張の中で戦っているオリンピック選手の状況を知る機会にもなり、パラリンピックが競技として評価されてきている一つの姿だったと思う。

50m自由形（S9）で銅メダル獲得の山田は、パラリンピック初出場のアテネから12年、ようやく

く掴んだメダルである。北京 5 位、ロンドン 4 位と一歩ずつ階段を上ってきて、諦めずに地道に続けた努力の賜物であることは、とても高く評価できるし、競技を越え多くの選手に勇気と希望を与えたのではないかと思う。とは言え、金メダルまで 0.05 秒という近くて遠いこの距離を縮めるために、さらに努力を続けていこう。

S14 クラスの津川（100m 背泳ぎ）は競技初日にチームに勢いをつける銅メダルだった。ロンドンでは補欠 2 からの決勝進出だったことを考えると、4 年間で着実に力をつけてきたことが結果となって表れたと思う。

同じく S14 クラスの中島（200m 個人メドレー）は、大会を通して見事に成長していった選手である。4 日目の 200m 自由形では積極的に攻めて決勝 6 位。その後最終日の 200m 個人メドレーでは、予選決勝で 3 秒以上ベストタイムを更新という勢いそのまま銅メダルを獲得した。

メダル獲得には至らなかったが、2 大会ぶりのパラリンピック出場となった成田（S5）は、年齢や競技期間が空いたことを全く感じさせてない泳ぎで生涯ベストやそれに近いタイムを連発、50m 背泳ぎの 5 位は本当に素晴らしい泳ぎであった。また、若手選手たちと組んで参加した 34P リレーでも、若手を引っ張る泳ぎで 6 位入賞を果たすなど、女子選手の中で唯一その実力を決勝で発揮していた。

一方 4 位とメダルを逃した鈴木（SB3・50m 平泳ぎ）と田中（SB14・100m 平泳ぎ）は、僅差ゆえにただただ悔しいレースとなった。それでも敗因は必ずあるので、目を逸らさずにしっかりと見つめ次につなげていってほしい。

小山（S6・50m バタフライ）と中村（SB7・100m 平泳ぎ）、小野（S11・100m 背泳ぎ）は、最近の状況からするとよくここまで持ち直したなと思うところもあるが、メダル争いに絡めなかった事実は事実として冷静な分析が必要である。

初出場でも、林田（SB14・100m 平泳ぎ）と女子 34P フリーリレー＜池、森下、成田、一ノ瀬＞は、よく頑張った入賞であった。特に林田は補欠からの繰り上げで参加できた選手であり、もらったチャンスをしっかりと活かせたことが素晴らしいかった。

4、チームとしての課題

ロンドンからの 4 年間で一番大きく変わったことは、2013 年 9 月に 2020 年東京パラリンピック開催が決まったことから始まった『世の中のパラリンピックに対するさまざまな変化』である。多くのスポンサーがつき、選手個人への助成も始まり、地域をあげて選手を育てようとする動き等々、選手 1 人 1 人の取り巻く環境そのものに大きな変化が起きている。そのようないろいろな状況が混在する中で、現在競泳チーム事情内で大きな課題となっているのは、以下の 2 つである。

- ① 実績を上げ経験を積んだベテラン選手のさらなる強化策
- ② 実績も経験もないのに東京の星として持ち上げられてしまっている若手選手の強化方法

この 2 つを含め、さまざまな状況下にいる選手が『パラ競泳日本代表チーム』を結成し戦い勝ち抜くためには、どのような体制を取り強化を行っていくのがいいのか。非常に難しく厳しい局

面を迎えている。そしてこの状況をしっかりと根本から受け止め対応できるチーム作り、スタッフ養成はとても重要かつ必須事項となっている。

さらには①が増え充実してきた事により、パーソナルスタッフの存在も大きなものとなってきている。今回初めてパーソナルスタッフを受け入れ、その対応については試行錯誤行なってきた。パーソナルスタッフも一緒になり最良な形で世界と戦い勝ち抜けるチーム体制を作るためには、これからも常に新たなことにも挑戦しつつ、良いモノ/コトが生かせる確実な体制を作ってきたと思う。

身体男子は若手が育っておらず2大会続けて新たな選手が出てきていない。また、女子は現在決勝で戦えるのが成田1人である。何よりも現状は2020年東京で戦う基盤すらないということを肝に銘じて、早急に各強化の方向性と体制を整え向き合っていかなければならない。

5、IPC Swimming と世界情勢

今回もパラリンピック本番のこの場でルールが変わるということが数点あり、しかもその現場に遭遇しないわからないという状況も起こっていた。常に何が起こるか分からないことを想定していても、それを超える想定外のことが起こりえる。また、オフィシャル・クラス分けともに、混沌としている状況はまだまだ続いていくような感じであることもわかった。

アンチ・ドーピング問題によりロシアが不参加になった分、より中国・ウクライナと言うパラ水泳大国の活躍が目立った。オリンピック・パラリンピックの水泳を通じて大国であるアメリカ・オーストラリアなどは今回も多く選手を派遣してきていたが、その半分以上が初出場でありしっかりと選手が育ってきていることがよくわかる。一方、オランダ・イタリア・ニュージーランドなどは、国土が小さいことを上手く活かし、拠点を作ってそこに選手を集め強化を行なっているようである。この3国については、選手数・メダル数ともに前回より上がってきている。

最後に、日本選手団として、それからパラ競泳チームとして、これだけ多くのスポンサーの方々に支えられて臨んだ大会は初めてであり、感謝してもしきれないほどのサポート・声援・応援を受けられたことは、本当に嬉しくありがたい限りである。実際に受けたサポートに対して誠心誠意受け止め活用できたかどうかは、チームとしてしっかりと現状把握をして、必要なことはきちんと対応していかなければならない。

『人間力なくして競技力向上なし』。JOC 強化本部長橋本聖子さんの言葉である。2020年東京パラリンピックに向けて、すべき強化はすでに始まっているしその中身は本当に多岐にわたる。リオでの結果と経験を忘れることなく、必ず継続した形で前に進んでいくことが大事になってくる。

[水泳]

氏名	性別	種目・クラス	ラウンド	出場数	順位	記録	成績	
小山 恭輔	男	男子50mバタフライ	S6	予選	12	6	33.06	
				決勝	8	5	31.98	入賞
		男子50m自由形	S6	予選	21	17	33.99	
木村 敬一	男	男子50m自由形	S11	予選	16	4	26.99	
				決勝	8	2	26.52	銀メダル
		男子100m平泳ぎ	SB11	予選	9	2	1:15.05	
				決勝	8	3	1:12.88	銅メダル
		男子100mバタフライ	S11	決勝	8	2	1:02.43	銀メダル
		男子100m自由形	S11	予選	13	7	1:02.85	
				決勝	8	3	59.63	銅メダル
男子200m個人メドレー	SM11	予選	10	6	2:36.31			
		決勝	8	4	2:28.76	入賞		
坂倉 航季	男	男子200m自由形	S14	予選	17	11	2:01.44	
鈴木 孝幸	男	男子200m自由形	S5	予選	13	9	2:58.74	
				予選	10	5	2:43.15	
		男子150m個人メドレー	SM4	決勝	8	4	2:38.71	入賞
				予選	11	2	49.71	
		男子50m平泳ぎ	SB3	決勝	8	4	49.96	入賞
男子100m自由形	S5	予選	17	10	2:07.23			
田中 康大	男	男子100m平泳ぎ	SB14	予選	16	4	1:08.65	
				決勝	8	4	1:07.82	入賞
		男子200m個人メドレー	SM14	予選	20	11	2:20.41	
津川 拓也	男	男子100m背泳ぎ	S14	予選	13	4	1:03.49	
				決勝	8	3	1:00.42	銅メダル
		男子200m個人メドレー	SM14	予選	20	5	2:18.45	
				決勝	8	5	2:18.03	入賞
中島 啓智	男	男子200m自由形	S14	予選	17	6	2:00.38	
				決勝	8	6	2:00.61	入賞
		男子200m個人メドレー	SM14	予選	20	2	2:16.00	
				決勝	8	3	2:15.46	銅メダル
中村 智太郎	男	男子100m平泳ぎ	SB7	予選	9	5	1:21.97	
				決勝	8	7	1:23.46	入賞
林田 泰河	男	男子100m平泳ぎ	SB14	予選	16	6	1:10.70	
				決勝	8	7	1:11.26	入賞
廣田 真一	男	男子100m平泳ぎ	SB14	予選	16	10	1:11.92	
宮崎 哲	男	男子200m自由形	S14	予選	17	10	2:01.39	
山田 拓朗	男	男子400m自由形	S9	予選	14	12	4:37.28	
				予選	21	8	57.84	
		男子100m自由形	S9	決勝	8	8	57.69	入賞
				予選	18	4	26.20	
		男子50m自由形	S9	決勝	8	3	26.00	銅メダル
男子100mバタフライ	S9	予選	15	12	1:06.07			
生長 奈緒美	女	女子100m背泳ぎ	S11	予選	16	16	1:35.66	
		女子50m自由形	S11	予選	17	13	35.43	
		女子100m自由形	S11	予選	14	14	1:20.85	
池 愛里	女	女子100m平泳ぎ	SB9	予選	10	10	1:27.47	
		女子50m自由形	S10	予選	21	19	31.04	
		女子100m背泳ぎ	S10	予選	14	12	1:15.33	
		女子100mバタフライ	S10	予選	11	10	1:13.81	
		女子100m自由形	S10	予選	19	15	1:06.30	

[水泳]

氏名	性別	種目・クラス	ラウンド	出場数	順位	記録	成績	
一ノ瀬 メイ	女	女子100m平泳ぎ	SB9	予選	10	9	1:27.15	
		女子200m個人メドレー	SM9	予選	20	13	2:44.33	
		女子100m自由形	S9	予選	23	18	1:08.77	
		女子100mバタフライ	S9	予選	20	14	1:15.63	
		女子100m背泳ぎ	S9	予選	18	13	1:20.76	
		女子50m自由形	S9	予選	22	14	31.22	
小野 智華子	女	女子100m背泳ぎ	S11	予選	16	8	1:25.36	
				決勝	8	8	1:25.40	入賞
		女子400m自由形	S11	予選	12	12	5:57.78	
		女子50m自由形	S11	予選	17	17	36.71	
		女子100m自由形	S11	予選	14	11	1:16.45	
笠本 明里	女	女子200m個人メドレー	SM13	予選	17	17	2:56.20	
		女子50m自由形	S13	予選	13	13	31.86	
		女子100m背泳ぎ	S13	予選	14	11	1:17.98	
成田 真由美	女	女子100m平泳ぎ	SB4	予選	13	10	2:11.33	
		女子50m自由形	S5	予選	16	4	39.68	
		女子50m自由形	S5	決勝	8	5	39.23	入賞
		女子50m背泳ぎ	S5	予選	11	3	46.74	
		女子50m背泳ぎ	S5	決勝	8	5	47.63	入賞
		女子100m自由形	S5	予選	13	7	1:26.41	
		女子100m自由形	S5	決勝	8	7	1:26.39	入賞
森下 友紀	女	女子400m自由形	S9	予選	17	16	5:28.86	
		女子200m個人メドレー	SM9	予選	20	16	2:48.15	
		女子100m自由形	S9	予選	23	17	1:08.38	
		女子50m自由形	S9	予選	22	19	32.03	
		女子100mバタフライ	S9	予選	20	10	1:11.72	
成田 真由美、 森下 友紀、 一ノ瀬 メイ、 池 愛里	女	女子4×100mフリーリレー	34P	決勝	7	6	4:48.27	入賞
		女子4×100mメドレーリレー	34P	決勝	7	7	5:21.68	

Ranking & Results (名前順)

2016年9月17日現在

Rio 2016 Paralympics																					
No.	P No.	Name	Gender	Day	No.	Event	Personal Best					MQS						Result			
							MQS Rank	Time	Date	City	Country	MQS Rank	Time	MQS MET	Date	City	Country	Heat		Final	
																		Rank	Time	Rank	Time
1	1	木村 敬一	M	05	66	50m Fr	3	00:26.80	2012	Fuji	Japan	3	00:26.83	MQS	2015-07-17	Glasgow	Great Britain	4	00:26.99	2	00:26.52
3	1	木村 敬一	M	07	101	100m Fly	1	01:01.61	2016	Fuji	Japan	1	01:01.61	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan			2	01:02.43
2	1	木村 敬一	M	06	84	100m Br	3	01:12.28	2014	Berlin	Germany	3	01:12.88	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	2	01:15.05	3	01:12.88
4	1	木村 敬一	M	08	116	100m Fr	4	00:59.48	2016	Berlin	Germany	4	00:59.48	MQS	2016-06-10	Berlin	Germany	7	01:02.85	3	00:59.63
5	1	木村 敬一	M	09	130	200m IM	3	02:28.78	2016	Rio de Janeiro	Brazil	3	02:28.78	MQS	2016-04-22	Rio de Janeiro	Brazil	6	02:36.31	4	02:28.76
7	2	鈴木 孝幸	M	05	64	150m IM	4	02:37.79	2014	Berlin	Germany	4	02:39.29	MQS	2016-06-10	Berlin	Germany	5	02:43.15	4	02:38.71
8	2	鈴木 孝幸	M	07	103	50m Br	1	00:48.49	2008	Beijing	China	3	00:49.55	MQS	2015-07-17	Glasgow	Great Britain	2	00:49.71	4	00:49.96
6	2	鈴木 孝幸	M	01	13	200m Fr	11	02:59.29	2014	Incheon	South Korea	11	02:59.29	MQS	2014-10-20	Incheon	South Korea	9	02:58.74		
9	2	鈴木 孝幸	M	10	148	100m Fr	10	01:22.31	2010	Guangzhou	China	12	01:24.73	MQS	2014-10-21	Incheon	South Korea	11	01:24.76		
12	3	山田 拓朗	M	06	89	50m Fr	4	00:26.22	2012	London	Great Britain	5	00:26.35	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	4	00:26.20	3	00:26.00
11	3	山田 拓朗	M	05	70	100m Fr	4	00:57.29	2008	Beijing	China	7	00:57.67	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	8	00:57.84	8	00:57.69
10	3	山田 拓朗	M	02	28	400m Fr	6	04:25.78	2008	Beijing	China	13	04:39.74	MET	2015-12-10	Bismarck	USA	12	04:37.28		
13	3	山田 拓朗	M	08	108	100m Fly	12	01:04.66	2014	Incheon	South Korea	12	01:04.66	MET	2014-10-20	Incheon	South Korea	12	01:06.07		
14	4	中村 智太郎	M	03	33	100m Br	4	01:21.79	2011	Edmonton	Canada	4	01:22.34	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	5	01:21.97	7	01:23.46
15	5	小山 恭輔	M	02	22	50m Fly	4	00:31.01	2008	Beijing	China	5	00:32.01	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	6	00:33.06	5	00:31.98
16	5	小山 恭輔	M	03	35	50m Fr	8	00:31.37	2008	Beijing	China	13	00:32.35	MQS	2015-09-05	Tokyo	Japan	17	00:33.99		
18	6	成田 真由美	F	05	77	50m Fr	4	00:39.22	2004	Athens	Greece	7	00:39.70	MQS	2016-07-17	Yokohama	Japan	4	00:39.68	5	00:39.23
19	6	成田 真由美	F	09	135	50m Ba	8	00:48.89	2016	Berlin	Germany	8	00:48.89	MQS	2016-06-10	Berlin	Germany	3	00:46.74	5	00:47.63
20	6	成田 真由美	F	10	149	100m Fr	9	01:31.16	2015	Tokyo	Japan	9	01:31.16	MQS	2015-09-06	Tokyo	Japan	7	01:26.91	7	01:26.39
17	6	成田 真由美	F	04	60	100m Br	8	02:07.70	2015	Tokyo	Japan	8	02:07.70	MQS	2015-09-05	Tokyo	Japan	10	02:11.33		
21	7	一ノ瀬 メイ	F	01	06	100m Br	9	01:25.83	2016	Berlin	Germany	9	01:25.83	MET	2016-06-09	Berlin	Germany	9	01:27.15		
22	7	一ノ瀬 メイ	F	04	50	200m IM	12	02:41.35	2016	Fuji	Japan	12	02:41.35	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	13	02:44.33		
23	7	一ノ瀬 メイ	F	05	71	100m Fr	18	01:09.16	2013	Kuala Lumpur	Malaysia	19	01:09.51	MET	2015-07-14	Glasgow	Great Britain	18	01:08.77		
24	7	一ノ瀬 メイ	F	06	90	50m Fr	16	00:31.06	2015	Tokyo	Japan	16	00:31.06	MET	2015-09-05	Tokyo	Japan	14	00:31.22		
25	7	一ノ瀬 メイ	F	08	109	100m Fly	13	01:13.92	2016	Glasgow	Great Britain	13	01:13.92	MQS	2016-07-17	Glasgow	Great Britain	14	01:15.63		
26	7	一ノ瀬 メイ	F	09	125	100m Ba	13	01:18.97	2015	Glasgow	Great Britain	13	01:18.97	MET	2015-07-13	Glasgow	Great Britain	13	01:20.76		
27	8	森下 友紀	F	02	29	400m Fr	17	05:28.75	2014	Incheon	South Korea	17	05:28.75	MET	2014-10-21	Incheon	South Korea	16	05:28.86		
28	8	森下 友紀	F	04	50	200m IM	16	02:52.17	2014	Incheon	South Korea	16	02:52.17	MET	2014-10-19	Incheon	South Korea	16	02:48.15		
29	8	森下 友紀	F	05	71	100m Fr	18	01:09.39	2015	Miyagi	Japan	18	01:09.39	MET	2015-11-07	Miyagi	Japan	17	01:08.38		
31	8	森下 友紀	F	06	90	50m Fr	20	00:32.23	2015	Miyagi	Japan	20	00:32.23	MET	2014-10-19	Incheon	South Korea	19	00:32.03		
30	8	森下 友紀	F	08	109	100m Fly	12	01:13.01	2016	Fuji	Japan	12	01:13.01	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	10	01:11.72		
32	9	小野 智華子	F	02	27	100m Ba	6	01:24.19	2014	Berlin	Germany	9	01:25.25	MQS	2015-09-06	Tokyo	Japan	8	01:25.36	8	01:25.40
33	9	小野 智華子	F	03	46	400m Fr	10	05:50.04	2016	Berlin	Germany	10	05:50.04	MQS	2016-06-11	Berlin	Germany	12	05:57.78		
34	9	小野 智華子	F	05	67	50m Fr	15	00:35.29	2014	Incheon	South Korea	15	00:35.29	MET	2014-10-19	Incheon	South Korea	17	00:36.71		
35	9	小野 智華子	F	08	117	100m Fr	12	01:16.70	2014	Berlin	Germany	13	01:18.44	MQS	2016-04-22	Rio de Janeiro	Brazil	11	01:16.45		
36	10	笠本 明里	F	03	42	200m IM	15	02:49.64	2012	Fuji	Japan	16	02:52.86	MET	2015-06-07	Kobe	Japan	17	02:56.20		
37	10	笠本 明里	F	07	106	50m Fr	20	00:31.41	2013	Montreal	Canada	20	00:31.97	MET	2015-09-05	Tokyo	Japan	20	00:31.86		
38	10	笠本 明里	F	10	147	100m Ba	4	01:13.33	2010	Eindhoven	Netherlands	7	01:15.64	MQS	2015-07-15	Glasgow	Great Britain	11	01:17.98		
39	11	生長 奈緒美	F	02	27	100m Ba	15	01:30.46	2010	Eindhoven	Netherlands	16	01:35.40	MET	2015-06-07	Kobe	Japan	16	01:35.66		
40	11	生長 奈緒美	F	05	67	50m Fr	9	00:32.54	2008	Osaka	Japan	12	00:33.60	MQS	2014-10-19	Incheon	South Korea	13	00:35.43		
41	11	生長 奈緒美	F	08	117	100m Fr	11	01:16.09	2008	Osaka	Japan	11	01:16.66	MQS	2014-10-20	Incheon	South Korea	14	01:20.85		
42	12	池 愛里	F	01	06	100m Br	10	01:26.10	2015	Glasgow	Great Britain	10	01:26.10	MET	2015-07-15	Glasgow	Great Britain	10	01:27.47		
43	12	池 愛里	F	02	25	50m Fr	12	00:29.74	2014	Osaka	Japan	14	00:29.91	MET	2015-11-08	Miyagi	Japan	19	00:31.04		
44	12	池 愛里	F	03	44	100m Ba	10	01:13.09	2016	Melbourne	Australia	10	01:13.09	MQS	2016-01-24	Melbourne	Australia	12	01:15.33		
45	12	池 愛里	F	05	69	100m Fly	12	01:14.29	2015	Glasgow	Great Britain	12	01:14.29	MET	2015-07-17	Glasgow	Great Britain	10	01:13.81		
46	12	池 愛里	F	06	83	100m Fr	15	01:05.03	2014	Glasgow	Great Britain	15	01:05.17	MET	2014-10-20	Incheon	South Korea	15	01:06.30		
48	13	中島 啓智	M	10	150	200m IM	9	02:18.15	2016	Pathum-Thani	Thailand	9	02:18.15	MQS	2016-01-31	Pathum-Thani	Thailand	2	02:16.00	3	02:15.46
47	13	中島 啓智	M	04	53	200m Fr	9	02:00.40	2016	Chiba	Japan	9	02:00.84	MQS	2016-01-31	Pathum-Thani	Thailand	6	02:00.38	6	02:00.61
49	14	田中 康大	M	07	97	100m Br	2	01:06.69	2012	London	England	4	01:07.01	MQS	2014/10/20	Incheon	South Korea	4	01:08.65	4	01:07.82
50	14	田中 康大	M	10	150	200m IM	8	02:18.01	2014	Incheon	South Korea	8	02:18.01	MQS	2014-10-23	Incheon	South Korea	9	02:20.41		
51	15	津川 拓也	M	01	09	100m Ba	4	01:03.10	2016	Fuji	Japan	4	01:03.10	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	4	01:03.49	3	01:03.42
52	15	津川 拓也	M	10	150	200m IM	13	02:18.95	2016	Yokohama	Japan	13	02:18.95	MQS	2016-07-17	Yokohama	Japan	5	02:18.45	5	02:18.03
53	16	坂倉 航季	M	04	53	200m Fr	11	02:01.16	2016	Fuji	Japan	11	02:01.16	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	11	02:01.44		
54	17	宮崎 哲	M	04	53	200m Fr	10	02:01.14	2016	Yokohama	Japan	10	02:01.14	MQS	2016-07-18	Yokohama	Japan	10	02:01.39		
55	18	廣田 真一	M	07	97	100m Br	11	01:11.82	2016	Fuji	Japan	11	01:11.82	MQS	2016-03-06	Fuji	Japan	10	01:11.92		
56	19	林田 泰河	M	07	97	100m Br	10	01:11.29	2015	Miyagi	Japan	10	01:11.29	MQS	2015-11-07	Miyagi	Japan	6	01:10.70	7	01:11.26
57	20	日本	F	08	121	4x100m FR	6	04:55.58	2016	Berlin	Germany	6	04:55.58	MQS	2016-06-10	Berlin	Germany			6	04:48.27
58	20	日本	F	09	137	4x100m MR	7	05:27.07	2016	Berlin	Germany	7	05:27.07	MQS	2016-06-11	Berlin	Germany			7	05:21.68

Rio 2016 Paralympic Games

期日: 2016年9月8日(木)~9月17日(土)
会場: OLYMPIC AQUATICS STADIUM



◆ 入賞者一覧 ◆

No.	No.	gen der	Name	Event	Rank	Result	Day	Remarks
1	1	M	木村 敬一	50m Fr	2	00:26.52	9/12	
2	1	M	木村 敬一	100m Fly	2	01:02.43	9/14	
3	1	M	木村 敬一	100m Br	3	01:12.88	9/13	
4	1	M	木村 敬一	100m Fr	3	00:59.63	9/15	
5	1	M	木村 敬一	200m IM	4	02:28.76	9/16	日本新
6	2	M	山田 拓朗	50m Fr	3	00:26.00	9/13	日本新
7	2	M	山田 拓朗	100m Fr	8	00:57.69	9/12	
8	3	M	津川 拓也	100m Ba	3	01:03.42	9/8	
9	3	M	津川 拓也	200m IM	5	02:18.03	9/17	
10	4	M	中島 啓智	200m IM	3	02:15.46	9/17	
11	4	M	中島 啓智	200m Fr	6	02:00.61	9/11	
12	5	M	鈴木 孝幸	150m IM	4	02:38.71	9/12	
13	5	M	鈴木 孝幸	50m Br	4	00:49.96	9/14	
14	6	M	田中 康大	100m Br	4	01:07.82	9/14	
15	7	F	成田 真由美	50m Fr	5	00:39.23	9/12	日本新
16	7	F	成田 真由美	50m Ba	5	00:47.63	9/16	
17	7	F	成田 真由美	100m Fr	7	01:26.39	9/17	日本新
18	8	M	小山 恭輔	50m Fly	5	00:31.98	9/9	
19	9	M	中村 智太郎	100m Br	7	01:23.46	9/10	
20	10	M	林田 泰河	100m Br	7	01:11.26	9/14	
21	11	F	小野 智華子	100m Ba	8	01:25.40	9/9	
22	1	F	4×100m フリーレー 池 愛里/森下 友紀/成田 真由美/一ノ瀬 メイ		6	04:48.27	9/15	日本新
23	2	F	4×100m メドレーレー 池 愛里/一ノ瀬 メイ/森下 友紀/成田 真由美		7	05:21.68	9/16	日本新

◆ 新記録一覧 ◆

【アジア新記録】

No.	No.	gen der	Name	Event	予/決	Result	Day	Remarks
1	1	M	鈴木 孝幸	200m Fr	予	02:58.74	9/8	
2	2	F	成田 真由美	50m Ba	予	00:46.74	9/16	

【日本新記録】

No.	No.	gen der	Name	Event	予/決	Result	Day	Remarks
1	1	F	池 愛里	100m Br	予	01:27.47	9/8	2015Glasgow要確認
2	1	F	池 愛里	100m Fly	予	01:13.81	9/12	
3	2	M	中村 智太郎	100m Br	予	01:21.97	9/11	2011Edmonton要確認
4	3	F	森下 友紀	100m Fr	予	01:08.38	9/12	
5	3	F	森下 友紀	100m Fly	予	01:11.72	9/15	
6	4	F	一ノ瀬 メイ	100m Fr	予	01:08.77	9/12	
7	5	F	成田 真由美	50m Fr	決	00:39.23	9/12	2004Athens要確認
8	5	F	成田 真由美	100m Fr	決	01:26.39	9/17	
9	6	M	山田 拓朗	50m Fr	決	00:26.00	9/13	
10	7	M	木村 敬一	200m IM	決	02:28.76	9/16	

11	8	F	4×100m フリーリレー 池 愛里/森下 友紀/成田 真由美/一ノ瀬 メイ	決	04:48.27	9/15	
12	9	F	4×100m メドレーリレー 池 愛里/一ノ瀬 メイ/森下 友紀/成田 真由美	決	05:21.68	9/16	

